

停学処分または退学処分に対する不服申立てを行う場合に 知っておくべきこと

保護者向け情報

不服申立てとは？

不服申立てとは、決定の再検討を要求することです。そのような状況は、下された決定に対して不満がある場合に発生します。

停学処分または退学処分に対してどのように不服申立てをすればよいですか？

学校長が不公平な判断を下したとか、方針や手順に正しく準じなかったと思われる場合は、停学処分や退学処分に対して不服申立てを行うことができます。児童・生徒および保護者は[不服申立書](#)にご記入いただけます。

不服申立ては地元の[教育事務所](#)に提出することができます。当該の教育事務所が手続きを分かりやすくご説明いたします。地元の教育事務所への連絡方法については、学校にお問い合わせください。

不服申立てについては、教育指導主事 (Director, Educational Leadership) または学業担当常任理事 (Executive Director, School Performance) が決定を下し、そのプロセスには15日から20日 (授業日) を要します。不服申立てが行われ、決定が下されると、保護者の方に連絡があります。さらに詳細をご希望の場合は、申請された教育事務所までご連絡ください。

停学処分不服申立ての結果

停学処分に対する不服申立てが認められ、さらに処分決定者がこの申立てに合意した場合、学校長は保護者の方に連絡し、お子さんが迅速に学校へ復帰できるよう取りはからいます。お子さんの記録簿には不服申立ての結果が記録され、停学処分は記録から抹消されます。

停学処分の不服申立てが認められず、さらに処分決定者がこの申立てに合意しない場合、お子さんは合意された日まで停学となります。

退学処分不服申立ての結果

退学処分の不服申立てが認められ、さらに処分決定者がこの申立てに合意した場合、学校長は安全面での重大懸念事項を解決するために保護者と協力して、お子さんが学校へ復帰できるように対策を講じて支援する必要があります。お子さんの記録簿には不服申立ての結果が記録され、退学処分は記録から抹消されます。

退学処分の不服申立てが支持されず、処分の決定者が保護者の要請に合意しない場合、お子さんにはさまざまな選択肢があります。学校長は、お子さんのニーズによりふさわしい環境を手配するために保護者の方に協力します。

退学処分の不服申立てが支持されず、お子さんが17歳以上の場合、保護者の方とお子さんは学習を継続することにするか、就職することにするかの選択肢を検討する必要があります。

学校から得られる情報

保護者の方は、起こった事とその理由について学校に詳細情報を要請することができます。何か問題な点があるとお考えの場合、学校は決定の背後にある根拠、どのような措置がとられ、何をすべきかについて説明する必要があります。

苦情申立ての方法は？

保護者の方は、[子どもの擁護支援](#)に関する情報をご覧ください。停学処分または退学処分の手続きについてまだ懸念をお持ちの場合は、[苦情申立て](#)に関する情報もご参照いただけます。

学校とのコミュニケーションに関する情報は、[学校コミュニティ憲章](#)で提唱されています。

電話通訳サービス

学校にご連絡の際に通訳を希望される方は、電話通訳サービス (TEL: 131 450) をご利用ください。オペレーターが出たら、日本語の通訳をご指定のうえ、学校の電話番号をお伝えください。通訳が電話を介して会話をお手伝いします。このサービスは無料でご利用いただけます。